

分科会2

地域とともにある学校づくり
高等学校・特別支援学校

地域とともにある 魅力的な学校づくりの推進



発表者 熊本県立小国高等学校 教頭 梶山 昌浩

指導助言 文部科学省CSマイスター 香山 真一
(岡山県青少年教育センター閑谷学校 所長)

発表概要

1. 熊本県の学校運営協議会の特徴
2. 小国高校の概要と地域の期待
3. 学校運営協議会について〔概要・①～④〕
4. 今後の展望等



1. 熊本県の学校運営協議会の特徴

- ◆平成28年・熊本地震→学校と地域との防災上の連携の課題が表面化
 - ➡県立学校における防災を中心に据えたコミュニティ・スクールの導入を開始
 - 平成29年4月・・・地震発生以前に導入促進校として準備を進めていた**小国高校**及び上天草高校を「総合型」、それ以外を「防災型」として指定
 - 全県立学校に学校運営協議会を設置
(県立中学校は高校と併設)
 - 令和4年4月・・・全ての県立学校が「総合型」へと移行完了

小国高校は総合型
からのスタート！



2. 小国高校の概要と地域の期待

- ・ 昨年創立100周年を迎えた、中山間地域にある小規模校（全校生徒123名）
- ・ 小国町立小国中学校、南小国町立南小国中学校と連携型中高一貫教育
- ・ **生徒数確保による学校存続が強く地域から期待されている** → **学校の魅力化推進が急務**
- ・ 地域の学校支援の充実・・・「**小国高等学校の魅力化と永遠の発展の会**」
→ 小国町・南小国町の町長が隔年で会長を、地元県議会議員が顧問を務め、町議会議員、同窓会員等、計50名弱の理事等からなる組織で、学校への経済支援等を実施

★魅力化の推進

○文部科学省「COREハイスクール・ネットワーク構想」指定校

○熊本県教育委員会「熊本県学力向上研究指定校事業(総合的な探究の時間)」指定校

→遠隔授業を4校より受信（数学・英語・マーケティング・声楽）

→ **地域にかかる探究活動の推進**

◇ **地域みらい留学による生徒募集を実施予定**

COREハイスクール・
ネットワーク構想
【遠隔授業】



3. 学校運営協議会について～概要図



3. 学校運営協議会について～①委員の選任

①学校運営協議会委員の選任【前年度3月】

【熊本県立学校における学校運営協議会委員の構成】

PTA代表、近隣小中学校長、自治会長、地元自治体職員、地元警察署、消防署職員、地元企業代表、地元商工会議所職員、民間企業社員、NPO職員など

令和5年度(2023年度)

小国高校 学校運営協議会委員

- ・育志会（PTA）会長・代表
- ・小国中学校長
- ・小国町教育委員
- ・小国町役場政策課
- ・南小国町役場まちづくり課
- ・小国警察署長
- ・阿蘇消防中部消防署長
- ・道の駅小国駅長
- ・南小国町社会福祉協議会
- ・小国町食生活改善推進委員会会長



- 地域の有識者が中心であるため、建設的な意見聴収ができ教育活動への協力でも大きな助力が期待できる。
- 継続して委嘱する委員が多く学校運営上の連続性が担保できる。
- 新規の取組を行うことなどに伴う委員の検討。
 - 今年度より、総合的な探究の時間の取組を中心に、地域の方々と学校をつなぐコーディネーターの方が協力
 - 次年度の委員候補者として県教育委員会に意見を予定

3. 学校運営協議会について～②学校運営方針の説明・承認

②第1回学校運営協議会【6月】 資料表紙・目次

令和5年度

第1回学校運営協議会
第1回COREハイスクール
・ネットワーク構想
コンソーシアム委員会



小国高校は昨年創立100周年を迎えました

令和5年6月30日(金)
熊本県立
小国高等学校

==== 目次 =====

- 1 令和5年度
第1回学校運営協議会
第1回COREハイスクール・ネットワーク構想
コンソーシアム委員会実施要項
- 2 熊本県立学校における学校運営協議会に関する要綱
- 3 学校説明資料
 - (1) 学校の経営方針・教育目標
 - (2) スクールミッション・スクールポリシー
 - (3) コミュニティ・スクール事業基本方針
 - (4) 小国高校の魅力化と永遠の発展の会の取組
 - (5) 中高一貫入試における入学者数及び
小国郷の生徒数等
 - (6) 中高一貫教育に関する資料
 - (7) 学校評価計画表
 - (8) 教育課程表(1年・2年・3年)
 - (9) COREハイスクール・ネットワーク構想に
関する資料
 - (10) 各部・各学年の今年度の取組に関する資料
 - (11) 小国高校に関する新聞記事・広報おぐに記事

3. 学校運営協議会について～②学校運営方針の説明・承認

②第1回学校運営協議会 学校説明より スクールミッション・スクールポリシー

1 スクール・ミッション（社会的役割）



三綱領「尚志」「勉学」「自主」のもと、阿蘇地域にある県内唯一の普通科の連携型中高一貫教育校として、自然と人間（いのち）の大切さを地域社会と共有し、様々な教育活動を通して、総合的な人間力を育むとともに、郷土を愛し、地域のリーダーとして社会に貢献できる人材を育成します。

そのため、連携型中高一貫教育校の特色を生かし、地域の小中学校や家庭と連携し、6年間にわたる継続的な取組を通して生徒一人一人の教育的ニーズに応じた最適な学びを推進し、「徳・体・知」の調和のとれた教育を目指します。

今後は、国のCOREハイスクール・ネットワーク構想[※]の取組により、他の高校との同時双方向の遠隔授業や協働的な探究活動等を展開し、生徒の多様な進路実現に向けた教育の充実を図ります。

更に、地元自治体や関係機関等と連携して環境教育・持続可能な開発目標（SDGs）を推進し、交流授業などの中長期的展望に基づいた小中高連携の教育活動を通して、個々の生徒の可能性及び能力を伸ばす教育活動を展開します。

※「COREハイスクール・ネットワーク構想」とは、中山間地域や離島などにある小規模高校の教育環境改善のためのネットワークを構築し、生徒の多様な進路実現に向けた教育・支援を可能とする高校教育を実現し、持続的な地方創生の核としての機能強化を図る事業です。

2 スクール・ポリシー（3つの方針をお伝えするモン）

★ グラデュエーション・ポリシー（卒業までに、こんな資質・能力を育むモン）

- （1）中高一貫教育の特徴を生かした確かな学力の定着を図ります。
- （2）個性を伸ばし、豊かな人間性を育成します。
- （3）総合的な探究の時間「尚志」を通して情報の収集、整理、活用力や問題の分析力、解決力などの課題対応能力を育成します。
- （4）確かな職業観、勤労観をもとにした進路目標の設計力や進路実現力を育成します。



3. 学校運営協議会について～②学校運営方針の説明・承認

★ カリキュラム・ポリシー（高校生活は、こんな学びを行うモン）

- (1) 総合的な探究の時間「尚志」を中心として、地域の現状を理解し、課題解決に向けて行動するための知識と態度を習得する授業を行います。
- (2) ICT機器を活用した理解度に応じた授業や「くまもと夢への架け橋ネットワーク構想」による遠隔授業及び学校設定科目を取り入れた授業、他県の高校等との交流を通して多角的な学びに取り組みます。
- (3) ティームティーチングや習熟度別学習を積極的に取り入れた授業を行います。
- (4) 2年次より2つの系列、3年次より3つの系列に分かれ進路希望に応じた学習を行います。

★ アドミッション・ポリシー（高校では、こんな生徒を待ってるモン）

- (1) 基本的な生活習慣と基礎学力が身に付いており、本校の教育活動に主体的かつ意欲的に取り組む生徒を募集します。
- (2) 中学校での学習を踏まえ、本校における学習に対する意欲と目的意識を持っている生徒を募集します。
- (3) 部活動や生徒会活動等に積極的に取り組み、リーダーシップを発揮できる生徒を募集します。
- (4) 地域に関心があり、地域の課題を解決しようとする意欲がある生徒を募集します。



学校運営方針の検討・共有＝学校支援の方向性の共有
＝本校生徒の学びの充実と学校の存続発展のための魅力化向上

3. 学校運営協議会について～③-1 教育活動支援

③-1 委員による具体的な支援例 ※一部予定も含む

1. 小国町役場政策課・・・地域の企業とのコラボレーションにより商品を開発し、ギフト券としてふるさと納税返礼品に出品する、「OGUNIギフト」作成に係る支援【総合的な探究の時間】



3. 学校運営協議会について～③-1 教育活動支援

③-1 委員による具体的な支援例 ※一部予定も含む

2. 小国町食生活改善推進協議会長・・・交流調理（地元の「食」や防災をテーマにした調理実習）の学習支援【家庭科】



3. 学校運営協議会について～③-1 教育活動支援

③-1 委員による具体的な支援例 ※一部予定も含む

3. 小国中学校長・・・中学生への探究成果発表実施に係る支援【総合的な探究の時間】

4. 道の駅小国駅長・・・探究活動成果発表の機会（場所）の提供【総合的な探究の時間】



3. 学校運営協議会について～③-1 教育活動支援

③-1 委員による具体的な支援例 ※一部予定も含む

5. 小国高校後援会長・南小国町役場まちづくり課

・・・学校教育活動の地域発信（FMラジオ・CATV）に係る支援【課外活動】

→隔週で収録・月に1回取材依頼に伴う定例会を実施



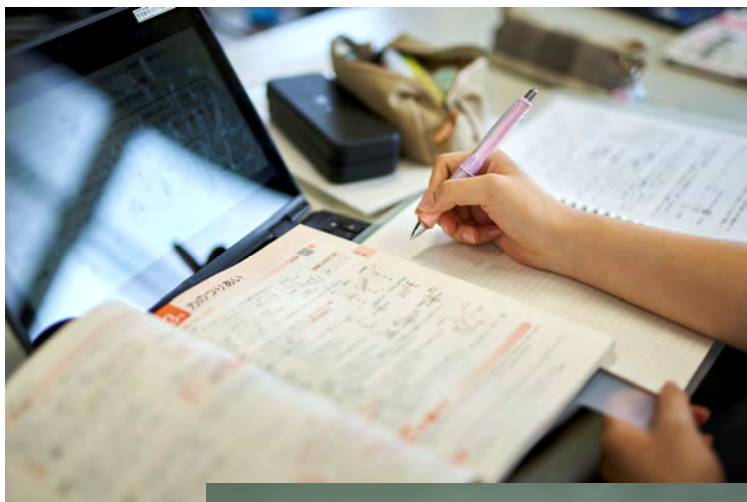
6. 南小国町社会福祉協議会・・・ボランティア講座の実施およびボランティアの推進【ボランティア】

7. 小国高校後援会会長・・・「小国高等学校の魅力化と永遠の発展の会」の運営を通じた学習支援（スタディサプリ導入・資格検定補助等）

3. 学校運営協議会について～③-2 教育活動観察

③-2 委員による教育活動の観察例

公開授業週間（6月・10月）・・・学校運営協議会委員へ参観を案内



○物理の光の散乱という難しい内容にも積極的に発言しており、上手く意欲を引き出していました。大学入試等に応じられる学力が期待される高校では、中学校の基礎的な学習内容が重要になることを改めて感じました。

【委員の感想より】

その他の学校行事等への案内も行いご意見を伺う

3. 学校運営協議会について～②学校運営の評価

②第2回学校運営協議会【2月】 資料表紙・目次

令和4年度
第2回学校運営協議会
第2回COREハイスクール
・ネットワーク構想
コンソーシアム委員会



熊本県立小国高等学校

==== 目次 =====

- 1 学校評価アンケート集計結果
- 2 令和4年度学校評価表
- 3 進路先合格状況
- 4 部活動大会結果
- 5 COREハイスクール・ネットワーク構想関連資料（今年度の取組と課題）
- 6 小国高校に関する新聞記事
- 7 広報おぐにより 輝いています！小国高生

3. 学校運営協議会について～②学校運営の評価

②第2回学校運営協議会【2月】 意見例

○全体的に計画に沿った学校経営が行われている印象です。今後、入学者増につながる魅力化とは何かを一緒に考えていけたらと思います。

○「探究的な学び」での、地域の経済的活性化・学童の食育充実・高齢者の生きがい・世代間交流を目指す、地域コミュニティによる「共同調理室」設置に係る町議会への提案という高校生の取組に関わり、感銘を受けました。地域との連携活動は、高校や生徒の地域での存在感を高めるものと思います。

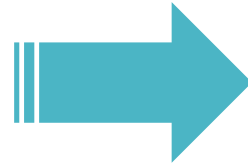
○「地域をテーマにした学習や活動も地域との関わりを考えて、その成果やまとめなどを地域にPRするのもよいのかもしれない。

○オンライン授業（COREハイスクール・ネットワーク構想）で他校の授業が受けられるのはとても良いと思います。今後はさらに過疎化が進むことが予想されますが、この過疎化が進む地域であっても都会の生徒と同じ学びができる環境がインターネットを利用してもっと進むことを期待します。

4. 今後の展望

「コミュニティ・スクール その先へ」～を目指して ①

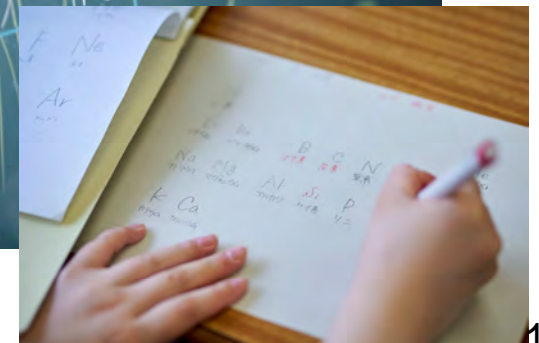
委員との個別的な
連携が中心



組織的な機能の
向上

○学校運営協議会への生徒代表の参加

○部会等に分けての少人数による熟議 → 全体の意思統一 等の工夫を



4. 今後の展望

「コミュニティ・スクール その先へ」～を目指して ②



学校運営協議会

★教育方針の承認等

小国高等学校の魅力化と
永遠の発展の会

★学校教育充実のための
経済的支援

より効果的な学校支援の
ための在り方を考える

連携の強化
を検討

方策例：第2回学校運営
協議会で次年度の会への
提案等を検討

4. 今後の展望 ～参考資料

【学校ICT化事業】

多様な学力、多様な進路希望を持った生徒へ個に応じた指導・支援を行うため昨年度から「スタディサプリ」を導入し、大学受験対策及び公務員試験、就職試験対策、各教科授業の補充に活用しました。

824,272円

【課外費補助】

国公立大学等上級学校への進学志望生徒への課外費補助

310,000円

【検定資格取得補助】

漢字検定・英語技能検定・ビジネス文書実務検定・マーケティング検定料の補助

417,600円

小国高等学校の 魅力化と永遠の発展 の会のご紹介

(令和4年度実績)

【進路関係書籍購入】

大学入学共通テスト対策問題集など書籍購入費

101,036円

【広報活動事業】

校舎周辺、役場前、中学校前等の看板設置費用

378,431円

【修学支援事業】

- ① 新入学入学金補助
新入生全員に入学金
一人当たり5,650円を補助
- ② 新入生教科書補助
音楽・書道の教材費として、
一人当たり6,000円を補助
- ③ 県外出身生徒補助
県外から通学している津江中出身の生徒への通学費補助
一人当たり20,000円

小国高等学校は、**平成24年より**小国町・南小国町より学校教育活動への補助をいただきながら、生徒の実態や教育的ニーズに応じた指導・支援を行っています。

4. 今後の展望

「コミュニティ・スクール その先へ」



地域とともに歩み さらに魅力あふれる学校に

学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域学校協働活動推進員数
		設置年度	委員数	年間開催回数	
熊本県阿蘇郡小国町	123名	平成29年度	13名	2回	0名

学校教育目標

基本的人権の尊重に基づき、生徒一人一人に対して深い愛情と理解をもって、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた「最適な指導・支援や合理的配慮」を行い、徳（豊かな人間性）・体（健康と体力）・知（確かな学力）の調和の取れた生きる力を備えた総合的人間力の育成に努める。また、郷土に思いを馳せ、生涯にわたって郷土に誇りを持てる人材に育てる。

学校・地域の特徴

○熊本県阿蘇郡小国町に位置する地域唯一の高等学校。昨年、創立100周年を迎える。

○地元の中学校（小国中・南小国中）と連携型中高一貫教育に取り組む。

○地域に根ざした活動が盛んで、町と連携した活動等に多くの生徒が積極的に参加している。

○地域の少子化、高齢化が顕著で、学校の発展・存続への期待が大きい。

学校運営協議会の概要

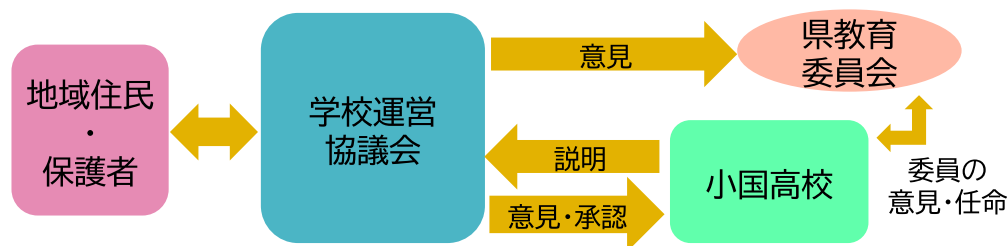
委員の構成

小国町教育委員、小国中学校長、小国警察署長、阿蘇消防中部消防署長、小国町役場政策課、南小国町役場まちづくり課、南小国町社会福祉協議会、小国町食生活改善推進委員会会長、道の駅小国駅長、育志会（PTA）会長・代表

これまでの主な議題例

○学校運営方針（シラバス等含む）ならびに学校評価について
 ○小国高等学校の魅力化と存続について
 ○中高一貫教育（今後の地域教育）の在り方について

組織図



地域学校協働活動の特徴的な取組や工夫など

学校運営協議会委員の支援による活動例

○地域の企業とのコラボレーションにより商品を開発（選択）し、ギフト券としてふるさと納税返礼品等に出品する「OGUNIギフト」作成【総合的な探究の時間】

○交流調理（地元の「食」や防災をテーマにした調理実習）【家庭科】

○地元ラジオ・CATVによる学校教育活動（学校の魅力）の地域発信【課外活動】

○ボランティア講座の実施およびボランティアの推進【ボランティア】